

syllabus

教科名 建築計画

	前期	後期	総時数
コマ数	3		60

開講学科 建築研究科

担当教員 戸巻 美樹 実務経験: 建築設計

目的	2級建築士学科試験合格のための知識の習得を目的とする。出題をジャンル別分類し、傾向を理解しながら問題の解答、解説を行う。実際の試験問題の内容を実務で必要となる知識の説明を交えながら説明する。
----	---

実務経験の生かし方	2級建築士の試験内容において、実務で必要となる知識は特に実例を交えながら、問題解説の説明を行う。そうすることにより、試験の為だけの知識ではなく、生きた知識として身に付けてもらう事を心掛ける。
-----------	---

授業概要	①	前期 環境① 気候・空気、熱	後期	
	②	環境② 光、音、色彩		
	③	環境③ 環境全般、用語、単位 設備① 空気調和設備、給水設備		
	④	設備② 排水・衛生設備、電気設備、照明設備		
	⑤	設備③ 消火・防災設備、省エネルギー、設備用語融合、照明設備		
	⑥	計画① 住宅建築、商業建築、公共建築		
	⑦	計画② 各種建築、建築生産、都市計画、計画各論		
	⑧	建築史 日本建築史、建築史融合		
	⑨			
	⑩	ジャンル別小テスト		
	⑪	ジャンル別問題選テスト		
	⑫	総合問題		
	⑬			
	⑭			
	⑮			

評価方法	※建築研究科のため、評価はしない。
------	-------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
		2級建築士試験学科 ポイント整理と確認問題 (総合資格学院)	

その他	
-----	--

教科名 **建築法規**

	前期	後期
コマ数	4	-

総時数	80
-----	----

開講学科 **建築研究科**

担当教員 **山本 崇仁**

実務経験: **確認申請の審査**

目的	二級建築士学科試験の法規の出題範囲における各種の規定について、その規定が必要な理由を考えながら学習することにより、法令の目的と内容をより深く理解することを狙いとする。
----	---

実務経験の生かし方	確認申請の審査業務及び自身の建築士試験の受験の経験をもとに作成した資料と、過去問題を繰り返し解かせることで試験に合格するための必要な知識の習得を目標とする。
-----------	--

授業概要	<p>前期</p> <p>① ・建築士法 ・建築士の業務、建築士事務所</p> <p>② 用語の定義・建築物の定義 ・特殊建築物の定義、防火に関する用語</p> <p>③ 建築手続・検査済証が必要な建築物 ・工作物、仮設建築物、用途変更</p> <p>④ ・一般構造①：居室の定義・天井高さ、居室の採光</p> <p>⑤ ・一般構造②：一般構造規定、居室の換気</p> <p>⑥ ・防火地域、準防火地域内の建築制限 ・耐火建築物、準耐火建築物</p> <p>⑦ ・法22条区域内の建築制限 ・防火区画</p> <p>⑧ ・廊下の幅、直通階段の設置、2以上の直通階段、屋上広場等の規定、排煙設備など</p> <p>⑨ ・内装制限を受ける建築物 ・内装の制限</p> <p>⑩ ・確認申請の概要、建築手続きに関する用語、規模により確認申請を必要とする建築物</p> <p>⑪ ・用途地域内の建築制限 ・道路および接道義務に関する規定</p> <p>⑫ ・各種高さ制限による建築物の高さの限度の計算</p>	<p>⑬ ・延べ面積、建築面積の算定 ・階数の算定</p> <p>⑭ ・延べ面積の限度の計算 ・建築面積の限度の計算</p> <p>⑮ ・日影規制の対象となる区域 ・日影を生じさせてはならない範囲</p> <p>⑯ ・バリアフリー法 ・耐震改修促進法</p> <p>⑰ ・品確法 ・都市計画法</p> <p>⑱ 各分野別による確認テストの実施①</p> <p>⑲ 各分野別による確認テストの実施②</p> <p>⑳ 各分野別による確認テストの実施③</p> <p>㉑ 各分野別による確認テストの実施④</p> <p>㉒ 各分野別による確認テストの実施⑤</p>
------	---	--

評価方法	※建築研究科のため、評価はしない。
------	-------------------

教科書教材	<p>教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント整理と確認問題 (総合資格学院) ・建築関係法令集 (総合資格学院) 	<p>教材</p> <p>講師オリジナルプリント</p>	備考
-------	--	-------------------------------------	----

その他	二級建築士学科試験の法規に関連する内容となる。
-----	-------------------------

教科名 建築構造

	前期	後期
コマ数	4	-

総時数
80

開講学科 建築研究科

担当教員 佐藤 嘉彦

実務経験: 建築施工管理・建築設計

目的	二級建築学科試験 建築構造での得点力向上を目指す。
----	---------------------------

実務経験の生かし方	これまで二級建築士と一級建築士の資格取得を経験したことを活かし、建築構造の基礎知識を確認しながら、勉強の仕方、問題の解き方のポイントを過去問題を解きながら解説する。
-----------	--

授業概要	1) 前期 力のつり合い、反力	15) 構造計画、建築材料
	2) 応力	16) 過去問演習1
	3) トラス	17) 過去問演習2
	4) 断面の性質	18) 過去問演習3
	5) 座屈	19) 過去問演習4
	6) 単位・用語、複合問題	20) 過去問演習5
	7) 荷重・外力(積載荷重～地震力～基礎・地盤)	21) 過去問演習6
	8) 木材～木造建築物	22) 過去問演習・直前対策
	9) 木質構造(接合)他	
	10) コンクリート	
	11) 鉄筋コンクリート構造	
	12) コンクリートブロック造、壁式鉄筋コンクリート造	
	13) 鋼材、鉄骨造	
	14) 鉄骨構造(接合)	

評価方法	研究科につき評価なし
------	------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	・2020年度版 2級建築士試験学科 ポイント整理と確認問題 ・2020年度版 2級建築士試験学科 過去問スーパ-7 (いずれも総合資格学院編)	・オリジナルプリント	

その他	二級建築士資格試験合格を目指す。授業中は私語厳禁とする。
-----	------------------------------

教科名 建築施工

	前期	後期
コマ数	4	

総時数
80

開講学科 建築研究科

担当教員 田淵 友也

実務経験 : 建築施工管理

目的	二級建築士学科試験合格のための知識の習得及び実践的トレーニングを目的とする。過去の問題を中心に工種別に分類し、問題の解説を行う。
----	--

実務経験の活かし方	ゼネコン勤務40年の現場施工管理の経験を活かして建築の仕事を伝えます。更に資格優先の業界であり「建築士の早期取得の必要性」を伝えたい。現場施工管理業務の厳しさの中にも建物が出来上がった際の喜び・感動等をエピソードを交えて伝えます。
-----------	---

授業概要	① 前期 1契約	⑭ ・木工事特別問題
	② 2施工計画 3管理計画	⑮ ・過去問題 演習
	③ 2施工計画(ネットワーク工程)	⑯ ・過去問題 演習
	④ 4仮設計画 5地盤・土工事・基礎	⑰ ・過去問題 演習
	⑤ 6鉄筋工事 7型枠工事	⑱ ・過去問題 演習
	⑥ 8コンクリート工事 9鉄骨工事	⑲ ・過去問題 演習
	⑦ 10コンクリートブロック工事 11木工事	⑳ ・過去問題 演習
	⑧ 12防水工事 13左官工事	㉑ ・過去問題 演習
	⑨ 14タイル工事 15塗装工事	㉒ ・過去問題 演習
	⑩ 16建具・ガラス工事 17内装工事	㉓ ・過去問題 演習
	⑪ 18改修工事 19設備工事	㉔ ・過去問題 演習
	⑫ 20施工機械・器具 21測量	㉕ ・過去問題 演習
	⑬ 22積算・見積り	㉖ ・過去問題 演習

評価方法	※建築研究科のため、評価はしない。
------	-------------------

教科書 教材	教科書 学科ポイント整理と確認問題 2020年版 (総合資格学院)	教材 講師オリジナルプリント	備考

その他	
-----	--

syllabus

教科名 設計製図

	前期	後期
コマ数	6	

総時数
96

開講学科 建築研究科

担当教員 山本 崇仁

実務経験: 確認申請の審査

目的	二級建築士設計製図試験合格のための知識及び技術の習得を狙いとする。作図のポイント・エスキス・作図手順・木造の授業をおこない、所定の時間内に作図でき、試験に合格できる内容とスピードを習得できることを目的とする。
----	--

実務経験の生かし方	実務経験に基づいて、試験課題文の読み取りから作図までをいかに効率良く、テンポ良く、正確におこなうかを指導する。試験合格のための優先順位等の説明もおこなっていく。
-----------	--

授業概要	前期	
	① ・授業の進め方・試験内容の説明	①
	② ・模範解答のトレース1(作図演習)	②
	③ ・模範解答のトレース2(作図演習)	③
	④ ・手書きエスキス(平面図)→作図	④
	⑤ ・2階床梁伏図の解説	⑤
	⑥ ・手書きエスキス(全図面)→作図	⑥
	⑦ ・エスキス演習(プランニングの基礎)	⑦
	⑧ ・課題1 エスキス～内容のチェック	⑧
	⑨ ・課題1 エスキスを基に作図	⑨
	⑩ ・課題1 チェック・個別指導	⑩
	⑪ ・課題2 エスキス～作図	⑪
	⑫ ・課題3～14 随時実施	⑫
	⑬ ・試験前最終確認	⑬
⑭	⑭	

評価方法	課題の実施により、習得度を都度チェックする。 成績評価は行わない。
------	--------------------------------------

教科書 教材	教科書 令和2年度版2級建築士 設計製図テキスト (総合資格)	教材 講師オリジナルプリント	備考

その他	
-----	--